

持続可能なモビリティ社会の実現に向けて

2007年10月24日

トヨタ自動車株式会社 技監
渡邊 浩之

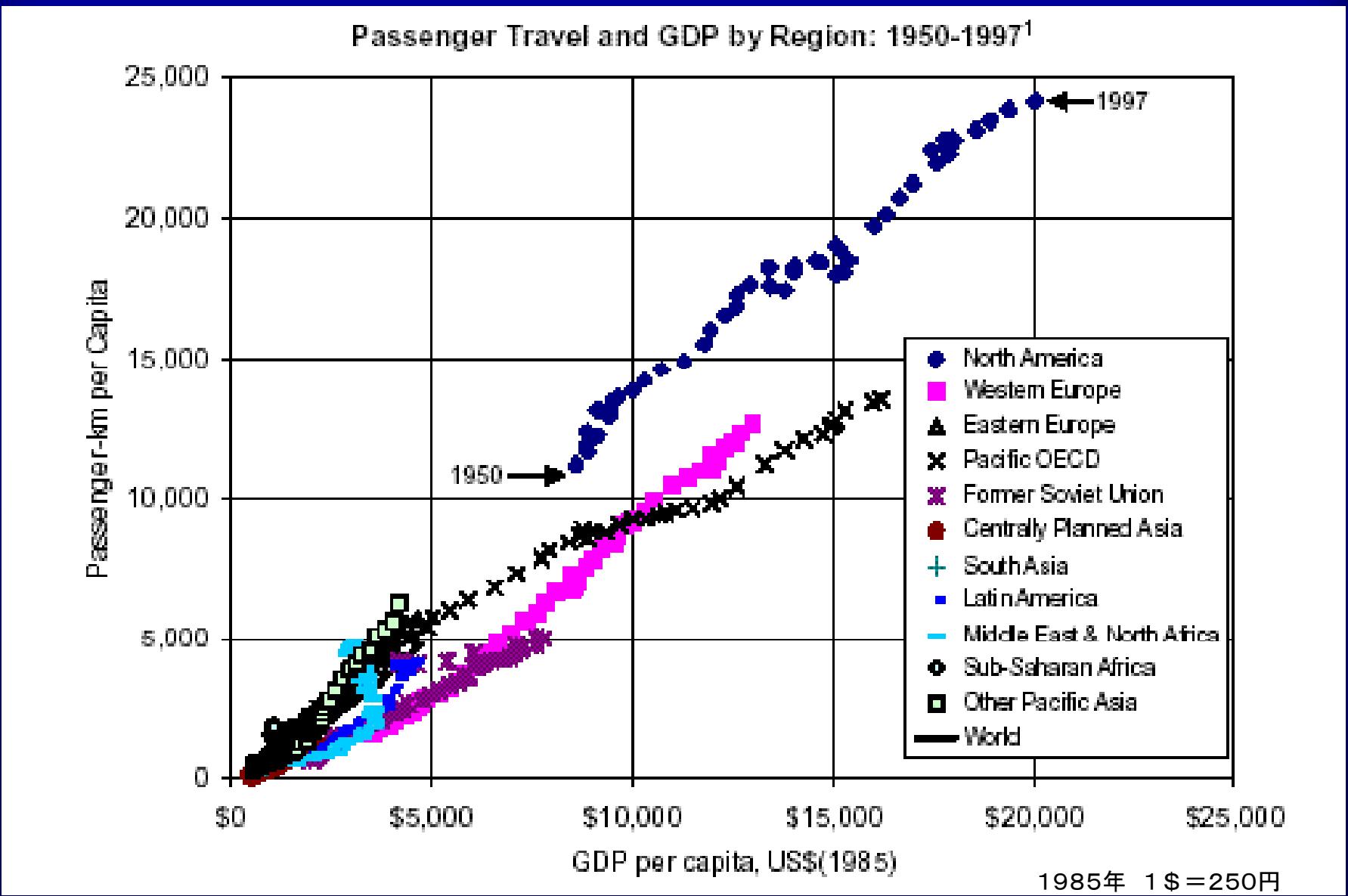
目 次

1. 現状認識
2. エネルギーと環境 課題対応
3. 産業競争力懇談会提案

目 次

1. 現状認識
2. エネルギーと環境 課題対応
3. 産業競争力懇談会提案

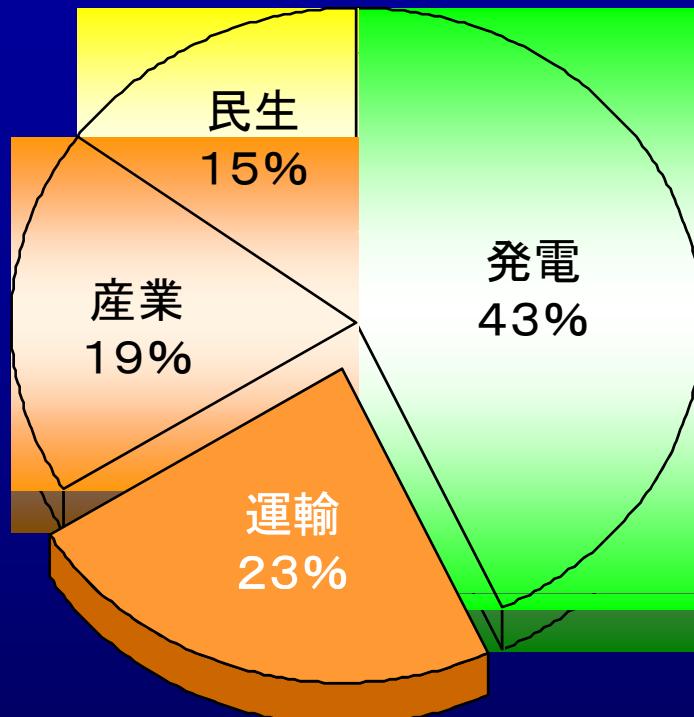
GDP1人当たりの移動距離



運輸部門のCO2排出量

＜全世界CO2排出量(発生源別)＞

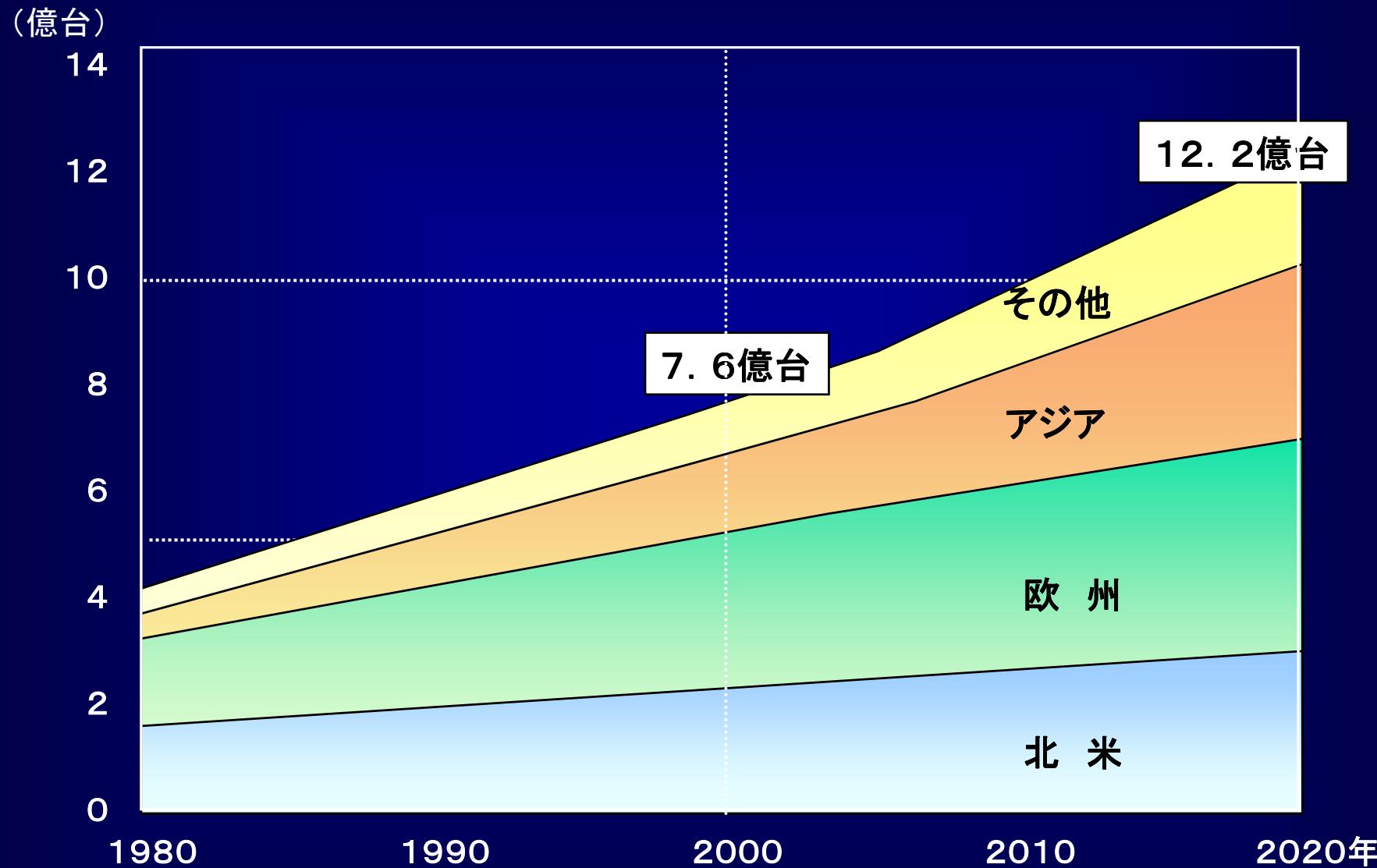
2002年実績



出典:IEA/WEO機関2004

- ・運輸セクターの割合は23%
- ・CO2抑制には各セクターの総合的な対策が必要

自動車の保有台数(世界)

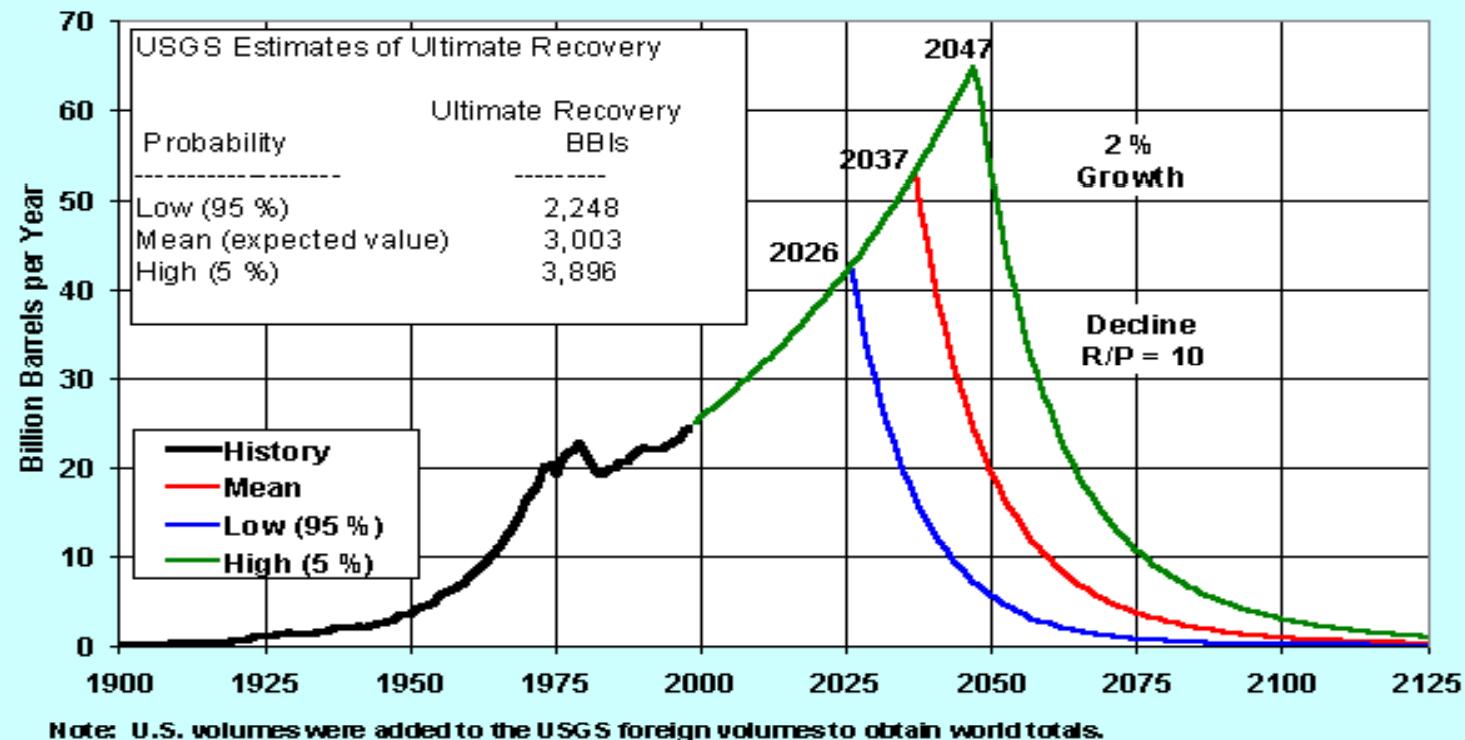


出典:日本エネルギー経済研究所(2004年3月)

石油の将来

米国鉱山局

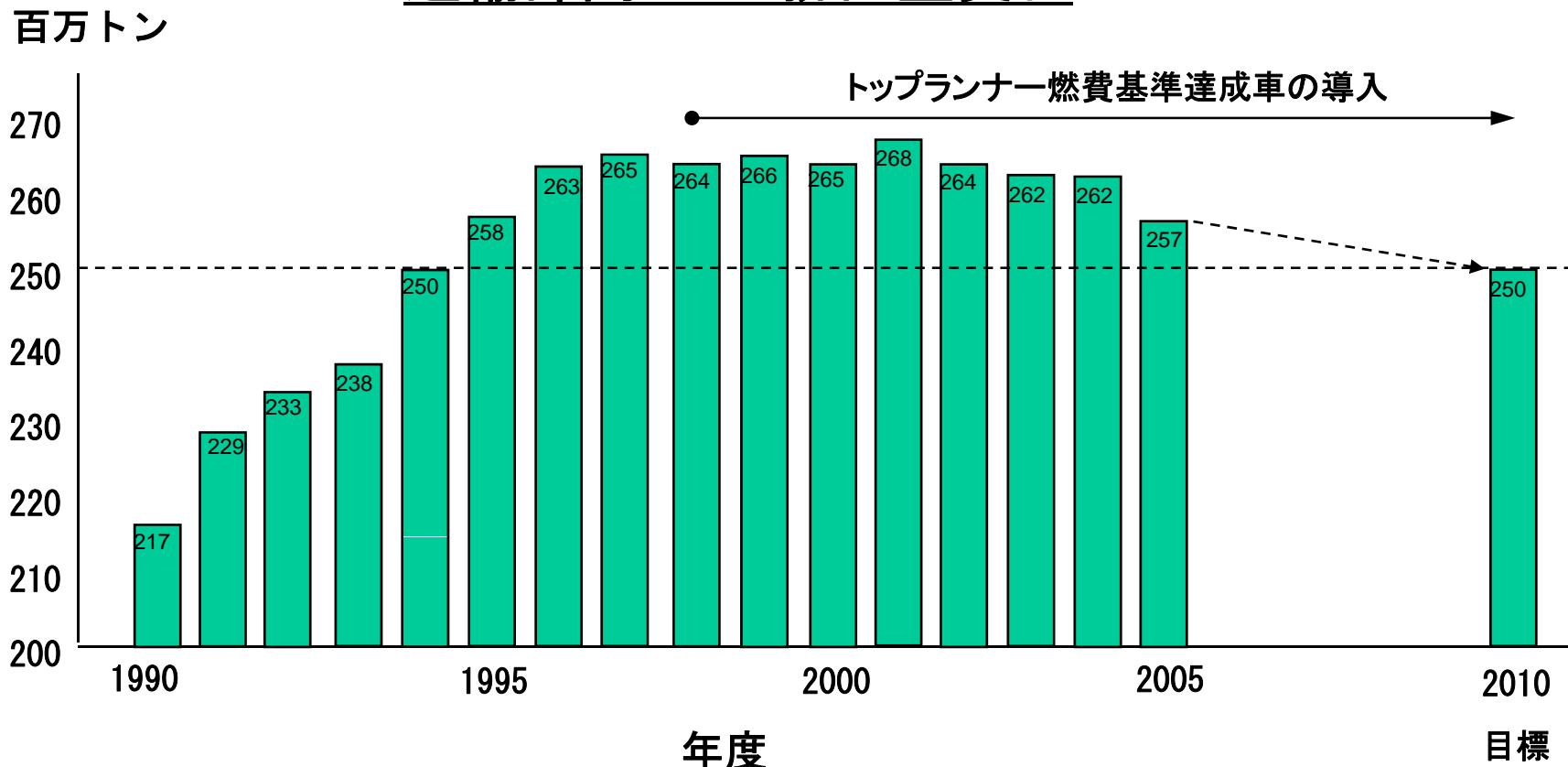
Annual Production Scenarios with 2 Percent Growth Rates and Different Resource Levels (Decline R/P = 10)



後20～50年で原油可採量のピークとなる可能性あり

運輸部門のCO2排出量変化

運輸部門のCO2排出量変化



出典:環境省資料より作成

2010年の目標に対して、達成可能レベルにある。